

自己推薦書の学修計画サンプル

3 本プログラムでの学修計画について

2 適性アピール の3) 本プログラムでどのようなことを学びたいかについて、本プログラムや各学部のホームページなどを参考に、具体的な学修計画を日本語や英語で、以下の枠内に収まるように記入してください。図や表などを使ってもかまいません。

※参考ホームページ

「本プログラム」 https://discovery.okayama-u.ac.jp/en/about_discovery/courses/

「各学部」 <https://www.okayama-u.ac.jp/tp/faculty/index.html>

「サンプル」 https://discovery.okayama-u.ac.jp/jp/admissions/discovery_application/

※ページ数は変更できません。文字数の制限はありませんが、フォントは10.5pt以上を使ってください。

地球温暖化に関連してSDGsを考えるとときにエネルギー問題は極めて重要である。その時に原子力発電をどの様に考えるかは避けて通れない問題だと思う。維持する立場でも、安全に減らす(廃炉を進める)立場でも原子力発電に関する知識は必要不可欠である。近い将来、最終的には国民投票等による判断が実施されるかもしれないが、発電の原理や危険性を良く知らないで判断することは危険で乱暴なことだと思う。危険性や有用性を含む科学的な情報を、全国民が理解していることは前提条件であるが、残念ながらその様な状況にはまだ遠いと感じている。一方で、どちらに進むかを決断するまでの猶予はほとんど無いと思う。そこで、関連する知識を総合的に学んで、それをできるだけ多くに人たちに伝えるために、雑誌の出版やマスメディアに関わる科学記事の記者、インタープリターを目指したい。

エネルギー問題をとり扱うためには、基礎的な知識が不可欠であるので、マッチングトラックで理学部物理学科を中心に多くの学部での講義を受講したい。エネルギーや放射線関連だけでなく、広報媒体などの知識も身に付ける必要が有ると考えた。岡山大学のホームページ情報から以下の講義に興味を持ったので、受講を考えたい。

- 素粒子と宇宙, 日本農業論, メディア・リテラシー (教養教育)
- 放射線生物学, 放射線計測学実験医学部 (保健学科)
- エネルギー工学, エネルギー環境システム基礎論 (工学部)
- 博物館情報・メディア論 (文学部)
- 地球化学熱力学, 素粒子原子核物理学 (理学部)

また、原子力に関する考え方は、国や地域によっても異なると思うので、さまざまな地域から集まったGDPの同級生と共に、この問題を考えるサークルを立ち上げたい。また、その考えをまとめて世界に発信する機会を持ちたい。新型コロナ感染症の影響で、自由に移動ができない時だからこそ、GDPの様に多くの異なる考えを持つ仲間と意見交換できる場は重要であると思っている。